

事業群評価調書(平成28年度実施)

基本戦略名	2 交流を支える地域を創出する	事業群主管所属	文化観光国際部文化振興課
施策名	(2) 文化・スポーツによる地域活性化	課(室)長名	古謝 玄太
事業群名	① 文化・芸術による地域づくり	事業群関係課(室)	

1. 計画等概要

【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)】

《長崎県総合計画チャレンジ2020 本文》

子どもから大人まで、県内どこにおいても音楽や美術などの良質な芸術・文化に触れられる機会の提供に取り組むとともに、若者文化を核としたまちづくりにも取り組んでいきます。

事業群指標	最終目標 (H32)	基準値 (H26)	実績 (H27)	達成率	【進捗状況の分析】
県美術館・長崎歴史文化博物館の本展・移動展や遠隔授業等の実施市町村数(累計)	21市町	0市町	7市町	—	長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館において、離島地区や遠隔地を中心に実施している移動展覧会及びテレビ会議システムを活用した遠隔授業を7市町・計8回開催し、さらに各館の学芸員や外部講師による出張授業及びワークショップを複数回開催することにより、多くの県民に芸術文化を学び楽しんでいただく機会を提供することができた。 今後も、遠隔地を中心としながらも、県内全ての地域において芸術・文化に触れる機会を提供することができるよう、計画的な事業の実施を図る。
事業群の進捗状況	—				

【事業群取組内容(総合計画に掲げる取組)の分析】

《取組項目及び現状と課題》

i) 県内のどこにおいても音楽や美術などの良質な芸術・文化に触れられる機会の提供

・長崎県美術展覧会(県展)では、7部門(日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・デザイン)の入選、入賞作品を長崎、佐世保、諫早の3会場で展示し、広く県民へ美術鑑賞の機会を提供しているが、離島半島等の条件不利地域では、都市部と比べて民間等の公演、展覧事業の開催自体が少なく、良質な芸術に触れられる機会が極めて少ない。また、課題として、指導者や出品者の高齢化等に伴い、出品点数が減少傾向にある。

ii) 若者文化を核としたまちづくり

・これまで、本県はいわゆるサブカルチャーを基軸とした取組を行っておらず、当該分野を活用した地域活性化の取組が遅れている状態である。また、新しい若者視点の文化創造によるまちづくりを推進するためには、継続的に企画運営を行うことができる体制の整備が不可欠である。

iii) 若い芸術家の支援と発表の場の提供

・離島半島等の条件不利地域では、若い芸術家が優秀な指導者からレッスンを受ける機会が少なく、また、その成果を発表する場も少ない。長崎ゆかりのアーティストを含む優秀な講師陣を派遣しセミナー等を実施することにより、若い芸術家の発掘・育成を図ることができる。

2. 27年度取組実績

取組項目	事務事業名 所管課(室)名	事業期間	事業費(上段:実績、下段:計画、単位:千円)			事業概要		指標(上段:活動指標、下段:成果指標)					事業の成果等	中核事業			
			H27実績	一般財源	人件費(参考)	事業対象	事業内容 (事業の実施状況)	指標	主な目標	H27目標	H27実績	達成率					
			H28計画	一般財源	人件費(参考)					H28目標	—	—					
取組項目 i	総合芸術祭費	S45-	7,622	0	8,056	県展 実行委員会	長崎県美術展覧会(県展)及び同移動展を県下各地で開催した。	活動指標	展覧会の回数	6	6	100%	・県民の芸術鑑賞・参加機会を創出し、美術活動を普及促進することにより、本県の芸術文化の振興が図られた。	○			
	文化振興課		8,292	0	8,065			成果指標	県展の観覧者数	17,000	17,881	105%					
	文化団体助成費	S53-	13,715	0	8,056	長崎県文化 団体協議会	県内の文化団体相互の連絡協調を行い、芸術文化活動を促進して県民文化の向上を図るため、補助を行った。	活動指標	主催事業(自主事業)実施件数	10	11	110%			・様々な芸術分野や地域において、県民のニーズに応じた芸術文化活動の実施を支援することにより、県民文化の向上を図ることができた。		
			文化振興課	13,715	0			8,065	成果指標	主催事業(自主事業)参加者数(人)	15,872	15,176				95%	
	地域発「ながさき文化のちから」創生事業 (文化芸術による離島半島地域活性化事業)	H27-29	25,987	0	8,056	地域実行 委員会	離島半島地域において開催する展覧会や舞台、演奏会等の文化芸術活動を市町、文化団体等により構成する各地域実行委員会に委託して実施することにより、交流人口の拡大や創造的人材の育成等に繋がる芸術文化活動を推進した。	活動指標	イベントの実施回数	5	6	120%	・優れた芸術文化に触れる機会の少ない離島半島地域を中心に、地域実行委員会を組織したことで、芸術文化の活動をマネジメントできる創造的人材の発掘や育成を図り、地域の独自性を活かした様々なイベントを実施できた。				
			文化振興課	20,315	0			8,065	成果指標	イベントの満足度(アンケート調査)	70	88				125%	
	長崎県美術館運営事業 長崎歴史文化博物館 運営事業 (移動展等)	H17-32	3,344	254	8,056	県民	長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館の移動展覧会やテレビ会議システムを活用した遠隔授業、出張授業、ワークショップ事業等を県内各地で開催し、優れた芸術・文化に触れる機会を提供した。	活動指標	—	—	—	・離島地区や遠隔地を中心に移動展覧会及びテレビ会議システムを活用した遠隔授業を7市町・計8回開催し、さらに各館の学芸員や外部講師による出張授業及びワークショップを複数回開催し、多くの県民に芸術文化を学び楽しんでいただく機会を提供することができた。					
			文化振興課	4,734	642			8,065	成果指標	県美術館・長崎歴史文化博物館の本展・移動展や遠隔授業等の実施市町村数(累計)	5				—	—	
	取組項目 ii	地域発「ながさき文化のちから」創生事業 (若者文化創造事業)	H27-29	25,987	0	8,056	地域実行 委員会	若者視点の文化を根付かせ若者が訪れたいまちづくりを行うため、地域の持つ魅力的な地域資源に加えて、若者文化に着目した新たなコンテンツを創造することにより、若者が訪れ集う街の賑わいを創出するとともに、交流人口の拡大を図る。	活動指標	イベントの実施回数	5		6		120%	—	○
				文化振興課	20,315	0			8,065	成果指標	イベントの満足度(アンケート調査)		70		88		
「描いてみんね!長崎」事業		(H28 新規) H28-30	—	—	—	出版社・作家	出版社とネットワーク作りを行い、他県に類を見ない本県の歴史、風土、景観等の地域資源を売り込み、マンガ、アニメ、若者向け小説などの作品に活用してもらうことにより、本県の魅力発信と交流人口の拡大を図る。	活動指標	創作を支援した出版関係者・作家数	—	—	—	—				
			文化振興課	2,183	2,183			8,065	成果指標	長崎県を舞台にした作品数	0	—		—			
取組項目 iii	地域発「ながさき文化のちから」創生事業 (地域の人材育成事業)	H27-29	25,987	0	8,056	地域実行 委員会	地域実行委員会等が、各地域の独自性・自主性を活かして行う、県内の若い芸術家の育成等に繋がる文化芸術活動を支援し、地域主体で地域の特長を活かした文化・芸術の企画をマネジメントできる体制づくりと人材の育成を図った。	活動指標	イベントの実施回数	5	6	120%	優秀なアーティストと地域をつなげることにより、芸術文化の人材育成や優れた演奏会などの機会の提供が図られた。	○			
			文化振興課	20,315	0			8,065	成果指標	イベントの満足度(アンケート調査)	70	88			125%		
	文化振興課	H27-29	25,987	0	8,056	地域実行 委員会	地域実行委員会等が、各地域の独自性・自主性を活かして行う、県内の若い芸術家の育成等に繋がる文化芸術活動を支援し、地域主体で地域の特長を活かした文化・芸術の企画をマネジメントできる体制づくりと人材の育成を図った。	活動指標	イベントの実施回数	5	6	120%					
			文化振興課	20,315	0			8,065	成果指標	イベントの満足度(アンケート調査)	70	88			125%		

3. 検証及び問題点の抽出

【課題解決に向けて取り組んだ事務事業の実績の検証】

- i) 優れた芸術鑑賞の機会が少ない地域においては、県展入賞作品と地元作家の入選作品を展示する県展移動展や長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館において実施する移動展や遠隔授業、地域発「ながさき文化のちから」創生事業(文化芸術による離島半島地域活性化事業)等により、県内各地において地域住民に優れた芸術文化鑑賞の機会を確保した。
 ・出品点数については、平成27年度から1人2点までに増やすなど改善を図ったほか、県展への親近感を醸成する「オークション事業」や、将来性のある有望な人材を対象とした「芸術人材育成事業」、協賛企業を増やすため会場内に協賛会員等PRコーナーを設置する「協賛会員PR事業」、協賛企業の増加、県展への親近感を醸成するための「入賞・入選作品貸出事業」など、展示事業以外にも出品点数を増加するための様々な事業に取り組んだ。今後も県展の観覧者数を維持するため、引き続き出品点数の増加など県展の活性化を図る必要がある。
 ・長崎県文化団体協議会については、芸術文化活動の活性化の参考としてもらうため、加盟団体の優良事例に関する冊子を作成し、配布した。引き続き加盟団体の活動を活性化させるための取組が必要である。
- ii) 人口減少などにより地域の活力が低下するなか、地域の活力を再生するには、他県にはない個性的な取組や、若者が主体的に活躍できる新たな地域ネットワークづくりを推進することが重要である。そこで、28年度新規事業として、これまで県として取り組んでいなかった新しい若者視点の文化創造やサブカルチャー等を活用した地域活性化に着手したものである。地域発「ながさき文化のちから」創生事業では、佐世保市で開催されるブレイクダンス世界大会の国内予選に併せて、ワークショップや市民参加型のダンスイベントを実施する地域実行委員会を設立し、また、「描いてみんね！長崎」事業では、出版社や作家を長崎県取材旅行に招待し長崎県を舞台としたマンガ創作の支援を行う予定である。27年度に開始したばかりの事業であることから、若者文化の芸術活動を企画運営できる体制作りと出版社との関係構築が急務である。
- iii) 「ながさき文化のちから」創生事業の取組の中で、芸術分野における最高学府である東京藝術大学の講師陣と五島市の中高校生、地域住民を結びつけた音楽セミナーや、全国的に著名な講師陣を招聘し、雲仙市の地域資源である小浜中学校吹奏楽部を中心に県内外の中高校生を対象とした雲仙マーチングクリニックを開催するとともに、受講の成果を発表するコンサートの機会を提供した。離島半島地域は、優秀な指導者からレッスンを受ける機会が少なく、成果を発表する機会も少ないことから、これまでの取組を更に充実させ、若手人材の育成と交流人口の拡大に繋げるための受入体制強化が必要である。

4. 29年度実施に向けた方向性

【問題点解決に向けた方向性】	【個別事務事業の見直し】			
	事務事業名	事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
i) 県内美術界にとって最大の展覧会事業であり、移動展の開催により良質な芸術に触れられる貴重な機会を提供していることから、出品点数の増加につながる取組を継続していく。また、引き続き、長崎県文化団体協議会加盟団体の活性化を図っていく。	総合芸術祭費	②⑥	平成28年度は、高校生の参加を促すなどにより出品点数の増加に努める。平成29年度以降も、県展実行委員会と連携のもと出品点数を確保し、良質な芸術に触れられる貴重な機会提供を継続しながら、観覧者数を維持していく。	改善
	文化団体助成費	②⑥	平成28年度は、自主事業のうち新人演奏会のアウトリーチ公演等を行うことにより、活動の活性化を図る。平成29年度は、新たに会員相互の意見交換や交流の場を設定することにより、活動の活性化を図る。	改善
	地域発「ながさき文化のちから」創生事業(文化芸術による離島半島地域活性化事業)	—	平成28年度は、平戸市、松浦市、対馬市において、長崎ゆかりの優秀なアーティスト等を活用したセミナー及びコンサートの実施により、地域住民に音楽鑑賞の機会を提供した。平成29年度は、実施地域の拡大や海外アーティスト招聘により、優れた芸術文化鑑賞の機会の確保に努めていく。	現状維持
	長崎県美術館運営事業 長崎歴史文化博物館運営事業(移動展等)	—	平成28年度は、離島地区や遠隔地を中心に移動展覧会及び遠隔授業を開催し、さらに各館の学芸員や外部講師による出張授業及びワークショップを複数回開催し、多くの県民に芸術文化を学び楽しんでいただく機会を提供していく。平成29年度は、未実施市町の学校や団体等と調整を行い、移動展覧会等の実施に努めていく。	現状維持
ii) 今後は、地域実行委員会等の体制強化やイベント等の充実、交流人口拡大に向けたコンテンツの活用を図っていく。	地域発「ながさき文化のちから」創生事業(若者文化創造事業)	—	平成28年度は、初年度であることから、地域実行委員会との協働によりダンスイベントを新規に立ち上げる。平成29年度は、地域実行委員会の体制強化やイベント内容の充実を図る。	現状維持
	「描いてみんね！長崎」事業	—	平成28年度は、新規事業であることから、まずは出版社との関係構築に努め、作家等招聘の実績を作る。平成29年度は、同様の手法で実績を積み重ねることにより、長崎を題材とした作品の創作を支援し、創作された作品のPRを図る。	現状維持

<p>iii) 今後は、地域が主体的かつ継続的に地域の特色を活かした文化芸術活動が行えるよう、若手演奏家の育成や体制整備の強化を図るとともに、交流人口拡大に結び付けていくことが必要である。</p>	<p>地域発「ながさき文化のちから」創生事業 (地域の人材育成事業)</p>	<p>②⑤⑥</p>	<p>平成28年度は、五島市においても、試行的に他地域から一般社会人の受講生を募集し、講師陣と地域が協力した質の高い演奏会を実施する。平成29年度は、五島市や雲仙市を若手演奏家の育成の拠点と位置づけて、他地域から受講生を呼び込み、交流人口拡大に努めるとともに、国境離島地域においては、セミナー等受講者や芸術文化合宿の誘致を促進するための補助制度の創設を検討する。</p>	<p>改善</p>
--	--	------------	---	-----------